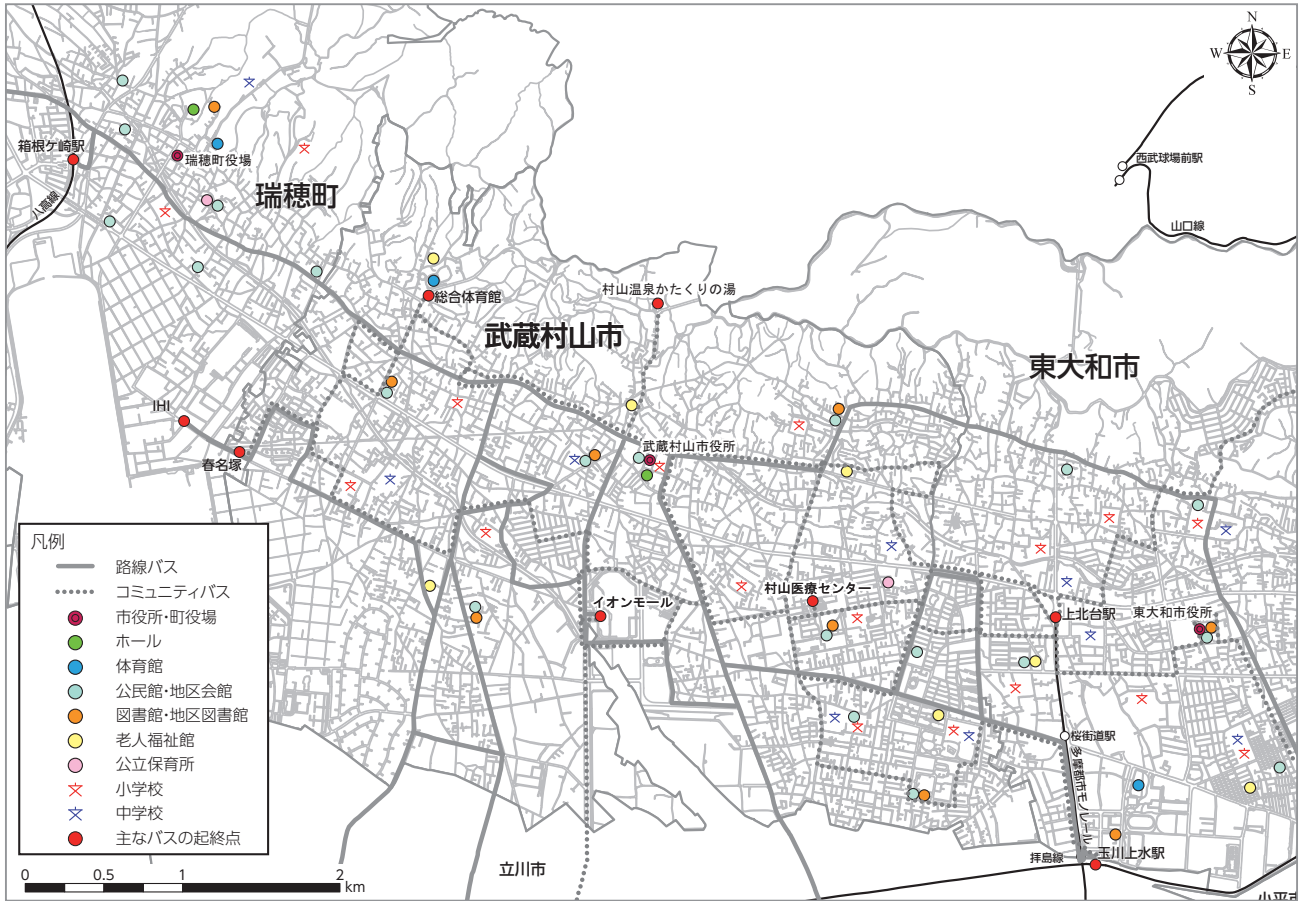


## (6) 公共施設…【施設の点在と老朽化】

- ・ 2市1町には地区会館や図書館、小・中学校などの公共施設が点在しています。
- ・ これらの公共施設については、建築から30年以上経過したものの割合が全体の約74%を占めており、今後の維持管理費用の増大や再編が課題とされています。

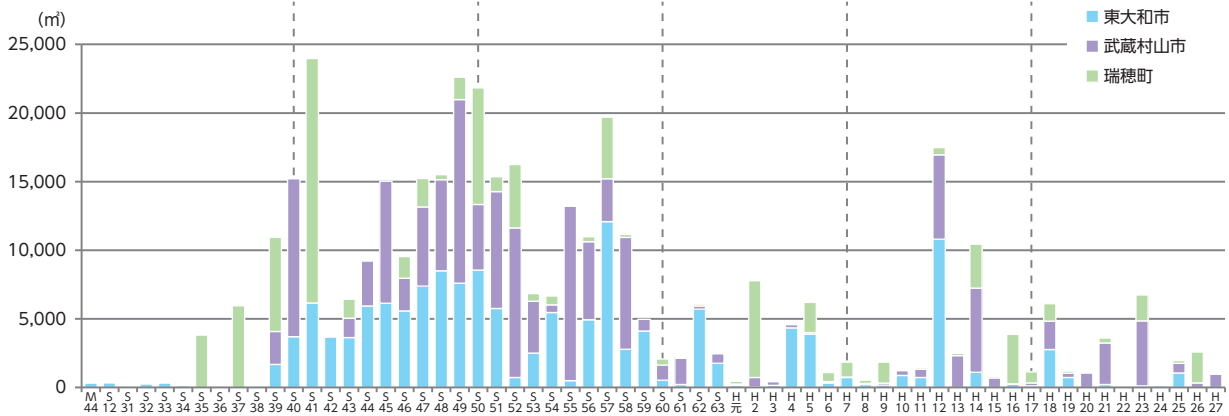
図：公共施設の位置



図：公共施設の建築年度別延床面積

建築後30年以上の建物の  
延べ床面積 (287,570m<sup>2</sup>)  
→ 全体 (386,528m<sup>2</sup>) の約74%

建築後年数	50年以上	40～49年	30～39年	20～29年	10～19年	10年未満
延床面積※	37,367m <sup>2</sup>	143,004m <sup>2</sup>	107,199m <sup>2</sup>	33,108m <sup>2</sup>	41,262m <sup>2</sup>	24,588m <sup>2</sup>
割合	9.7%	37.0%	27.7%	8.6%	10.7%	6.4%



※ 2市1町合計の延床面積

出典：各市町の公共施設等総合管理計画

I 構想の概要

II 「モノレール沿線まちづくり」とは

III 現況と課題

IV 課題解決に向けた対応方針

V 対応方針を踏まえた施策の方向性

VI 構想の実現に向けた施策の実施時期

VII 施策の展開

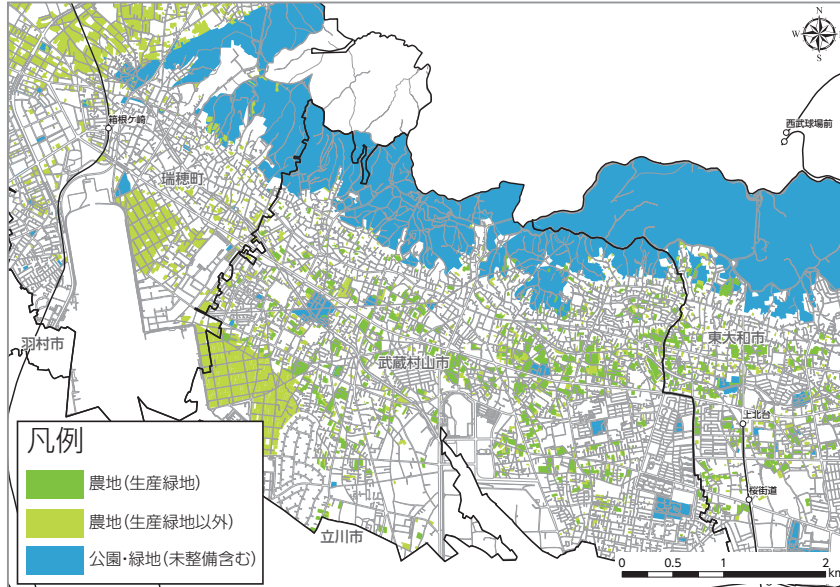
VIII 今後の取組

## (7) 自然環境・農業…【公園・緑地が豊富、農地の減少】

### ① 公園・緑地の分布

- 沿線には狭山丘陵をはじめとした公園や緑地が豊富にあり、都内でも自然環境に恵まれた地域となっています。

図：農地・公園・緑地の分布



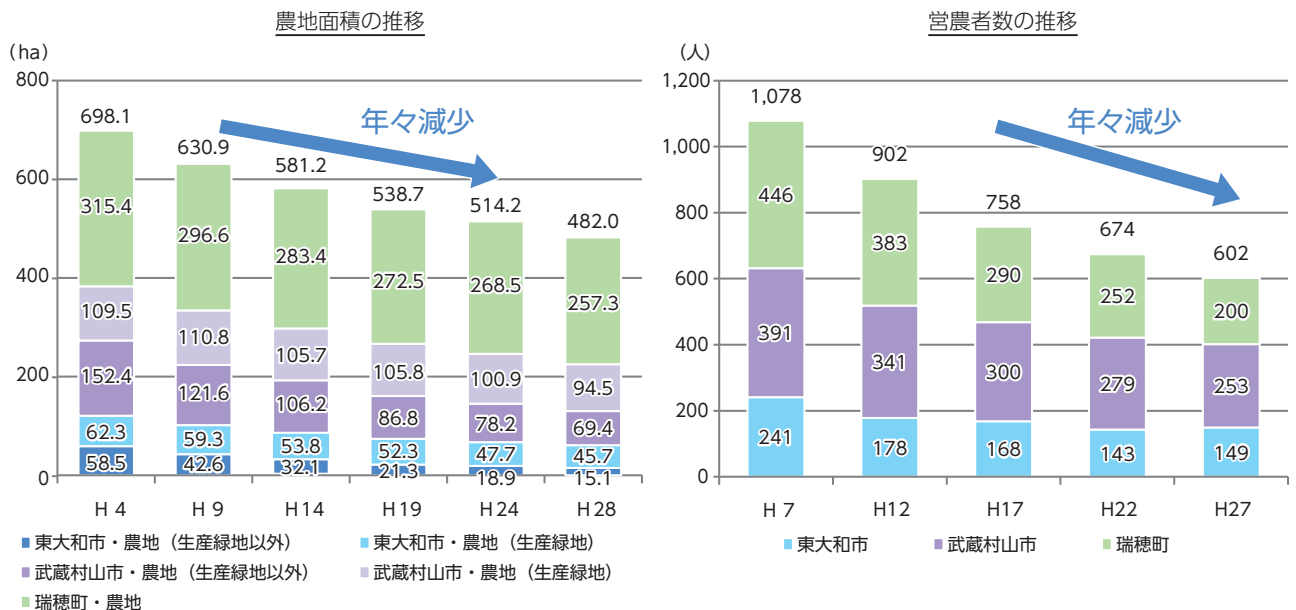
出典：東京都都市計画基礎調査（平成26年）/東京都土地利用現況調査（平成24年）  
各市生産緑地関係資料



### ② 農地の推移

- 農地については、各市町域に広く分布していますが、面積は年々減少しています。
- 農地の減少とともに、営農者も減少しています。

図：農地面積と営農者数の推移



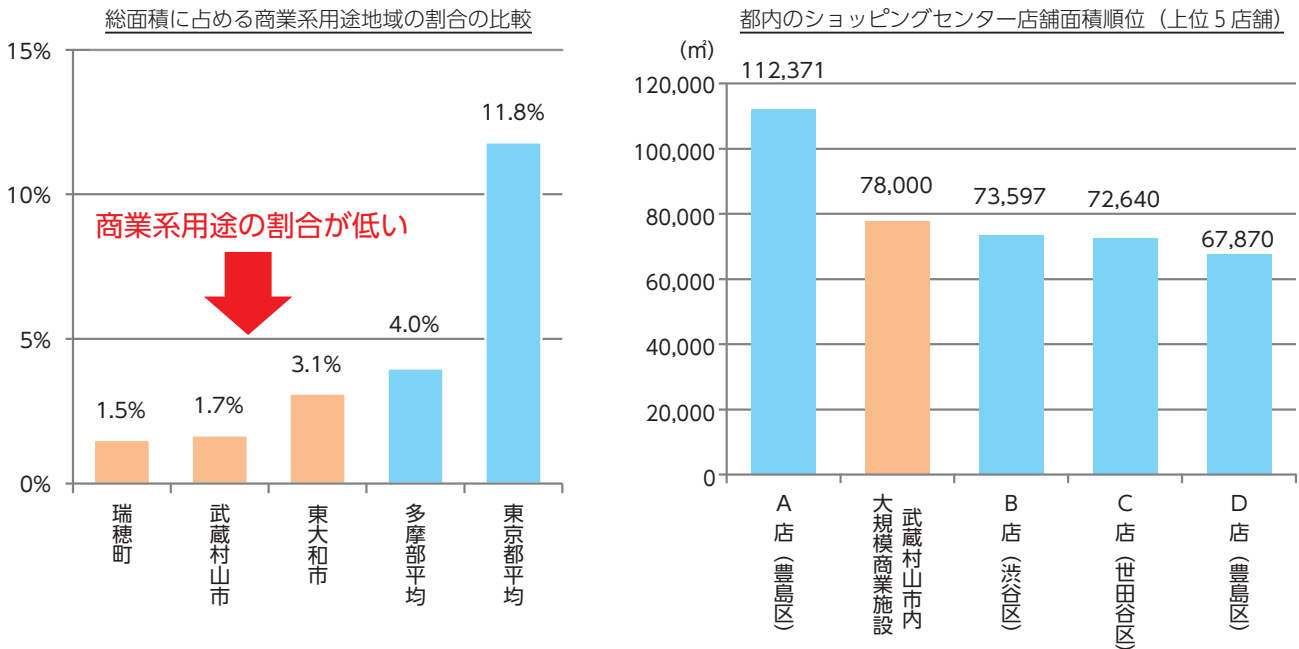
※瑞穂町は生産緑地の指定なし

出典：東京都統計年鑑（平成4年～平成28年）/各市生産緑地関係資料

## (8) 商業…【商業系用途地域の割合が低い、集客力のある大規模商業施設が立地】

- ・総面積に占める近隣商業地域・商業地域の割合は多摩部平均と比較して低くなっています。
- ・一方、店舗面積の広い大規模商業施設が立地しています。

図：近隣商業地域・商業地域の割合の比較と都内のショッピングセンター面積順位

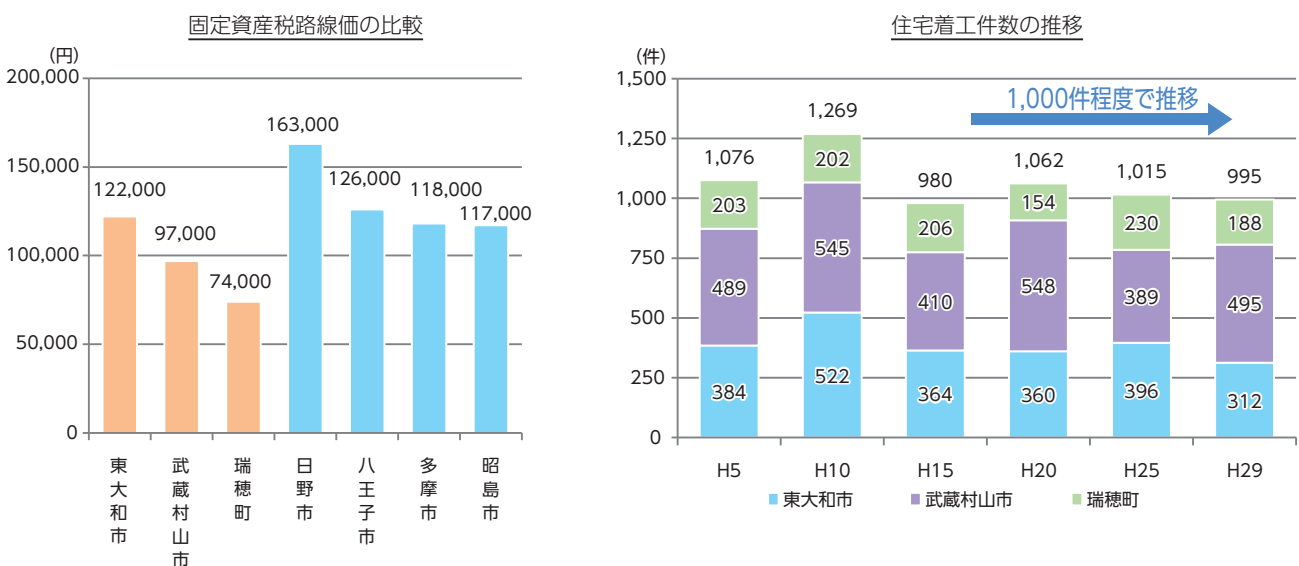


左出典：東京都土地利用現況調査 (平成24年)  
右出典：一般社団法人 日本ショッピングセンター協会 全国都道府県別SC一覧 (平成29年)

## (9) 地価・住宅…【地価が比較的安く、一定の新築需要あり】

- ・地価は立川駅から同程度の距離にある他の市と比較して低くなっています。
- ・住宅着工件数は年間1,000件程度で推移しています。

図：路線価の比較と住宅着工件数の推移



※市役所・町役場に隣接する道路の路線価を参照  
出典：一般財団法人 資産評価システム研究センター 固定資産税路線価等 (平成30年)

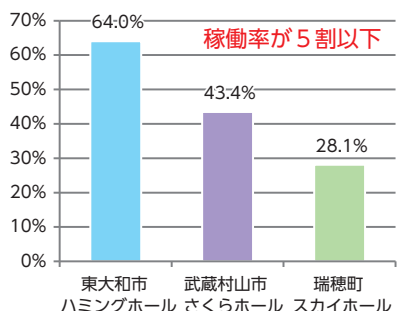
出典：各市町固定資産概要調書

## (10) 交流・観光…【交流を促す観光資源やイベントが存在】

### ① ホール・公園

- ・ホールの稼働率（開館日に占める大ホールの利用日）は、東大和市駅近くの東大和市のハミングホールが64%である一方、武蔵村山市のさくらホール、瑞穂町のスカイホールでは、50%を下回っています。
- ・野山北・六道山公園は都立最大の都市公園（平成29年度末の開園面積：約200ha）で、自然の素晴らしさや里山の生活を体験できる魅力的な公園であり、モノレール延伸により、より多くの来園者が期待される観光資源です。

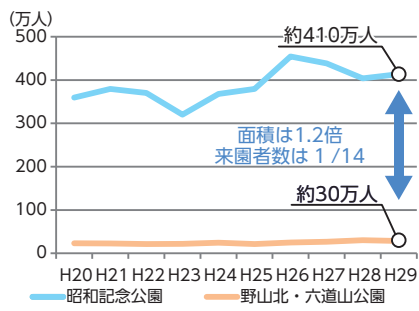
図：ホール稼働率



※各施設の大ホールを対象

出典：平成29年度各市町決算関係資料

図：国営昭和記念公園、都立野山北・六道山公園の来園者数



面積は1.2倍  
来園者数は1/14

出典：各公園統計資料

都立野山北・六道山公園



### ② イベント・集客施設等

- ・沿線には魅力的で多くの人を集めるイベント・施設が数多くあります。

#### イベント

##### うまかんべえ〜祭（東大和市）

地域社会を元気にすることを目的に開催、「うまかんべえ〜」とは「美味しいからどうぞ召し上がれ」という意味。（来場者約8万2千人：平成30年度）



##### 村山デエグラまつり（武蔵村山市）

地域の活性化と観光の振興を図ることを目的に開催、まつりの名前は「デエグラボッチ（大多羅法師）」の巨人伝説にちなんだもの。（来場者約7万人：平成30年度）



##### 瑞穂町産業まつり（瑞穂町）

テーマは「～活力とにぎわいのあるまちをめざして～」、町民相互の融和を図り、心のふれあう町づくりをめざすと共に、町内の産業振興を図ることを目的に開催。（来場者約2万7千人：平成30年度）



#### 集客施設等

##### 東大和市立郷土博物館（東大和市）

メインテーマは「狭山丘陵とくらし」、郷土の歴史、民俗、自然に関する事業を展開、プラネタリウムも備え、天文に関する話題も提供。（来場者約5万人：平成29年度）



##### 村山温泉「かたくりの湯」（武蔵村山市）

地下1,500mより汲み上げた天然温泉の入浴施設、平成30年3月リニューアルオープン。和風・洋風風呂やプール、レストラン、リラクゼーションなどを備える。（来場者約19万人：平成28年度）



##### 瑞穂町郷土資料館「けやき館」（瑞穂町）

平成26年11月に開館、瑞穂町の歴史や文化、自然について、楽しく学ぶことができ、水・緑と観光を繋ぐ回廊計画「きらめき回廊」の拠点として、観光等の情報を発信する新たな資料館。（来場者約4万人：平成29年度）

